

東京外国語大学 国際日本研究センター

社会言語部門主催 講演会

裁判所における方言



法廷での方言使用について、主に大阪簡易・地方裁判所での参与観察や裁判関係者へのインタビュー、裁判資料を研究対象として、更に沖縄や北海道の裁判での言語使用も視野に入れつつ機能・権力・言語権の視座からの分析を紹介する。またそれらを踏まえて裁判員裁判を含めた現代社会における方言使用や今後の方言研究について考える。

10 / 21 (金)

18:00～20:00

東京外国語大学府中キャンパス
本部管理棟2階中会議室

講演者: 札埜和男氏(京都教育大学附属高等学校)

社会言語学者。慶應義塾大学法学部。関西学院大学大学院社会学研究科博士課程満期退学。文学博士(大阪大学)。2010年本発表の元になる研究で「法教育懸賞論文」優秀賞を受賞。日本笑い学会理事。著書に「大阪弁看板考」(葉文館出版)、大阪弁「ほんまもん」講座(新潮新書)など。京都教育大学附属高校教諭。



- ◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ
西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分(JR新宿駅から約40分)
- ◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分、
「東京外国語大学前」下車

お問い合わせ

東京外国語大学 国際日本研究センター

電話: 042-330-5794 メール: info-icjs@tufs.ac.jp

